

R7年度 全 体 的 な 計 画

法人 保育理念	生涯にわたる人間形成は、乳幼児期にその基礎は培われる。将来社会の一員として、より良く生きるべき基礎を形成するために園を家庭の延長線上に位置づけ、子どもがより健康安全で安定した情緒の基に個性を充分発揮できる環境を整え、健全な心身の発達を図ることを理念とし事業・保育を行う。		
めざす子ども像	『心豊かな子どもを育む』 ①人にやさしい子ども ②礼儀正しい子ども ③感動できる子ども ④心身ともに健康な子ども		
教育・保育 目標	①子どもの様々な欲求を適切に満たし、生命の保持及び情緒の安定をはかる。 ②基本的生活習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培う。 ③人に対する愛情・信頼感・人権を大切にする心を育て、自主・協調の態度を養い、道徳の芽生えを培う。 ④生活する環境の変化について、興味や関心を持ち、豊かな心情や思考力の基礎を培う ⑤言葉への興味や関心を育て、聞いたり、話したりする豊かな態度や、意欲を養う。 ⑥様々な体験を通して、それを自己表現し、豊かな感性・創造性の芽生えを培う。	教育・保育 ビジョン	①やりたいことを見つけ、とことんあそぼう ～おもいっきりあそぶ!～ ②自分らしさを認め合おう ～じぶんがスキ。みんなもスキ!～ ③いろいろなことに挑戦しよう ～やってみたい。をやってみる!～
教育・保育 方針	「子ども一人一人に愛情をもって寄り添う保育」 「やりたいがとことんやれる保育」 ◎子どもの心情に寄り添う ◎子どもをよく観察し、対話し、一緒にあそび込む ◎子どものやりたいを大切にし、子ども自身でゴールを見つけるように	期待する 保育者像	子どもたちから学ぶ姿勢を大切にする保育者 ・保育の専門家として向上心を持ち、実践力と協調性をもつ保育者 ・子ども一人ひとりの最善の利益を尊重し、年齢の発達を理解して状況に応じた保育ができる保育者 ・子どもが主体的に活動できるよう、快適な環境設定のできる保育者 ・子どもの個性を認め、個別の対応と保護者支援ができる保育者 ・法令順守の保育者 ・心身ともに健康で、笑顔の絶えない保育者
健康支援・管理	嘱託医による内科健診（年2回） 歯科健診（年1回）、身体測定（毎月）、日々の健康状態の視診、食育の推進、保健指導（手洗い・うがい・歯磨き・フッ化洗口）、献立表の発行、食アレルギー対応（除去食等）、感染症の予防・対応		
環境・衛生管理	園舎内・園庭の清掃、0・1歳児の玩具の洗浄・消毒、敷きパット・マットの洗浄、砂場の点検・清掃、プール水質管理（7・8月）、職員検便、職員健康診断、感染症の早期発見・予防（対応マニュアル）、衛生管理マニュアル		
事故防止 安全対策	避難訓練（火災・地震：毎月、総合訓練：年1回）、消防設備等点検（総合年1回・機器年2回）、自主点検、非常時備蓄品の確保・点検、救急救命講習、ヒヤリハット報告・対応、事故記録簿、虐待マニュアル、安全マニュアル		
子育て支援	園だより・クラスだよりの発行、個人面談、関係機関（発達支援センター等）との連携、連絡帳による情報交換（0・1・2歳児、毎日）、高齢者との交流		
職員の研修	職員育成（キャリアアップ）計画に基づく研修、外部研修、園内研修、グループ会議・ケース会議		
小学校との接続・連携	小林市幼保小連携研修会への参加、「保育要録」の作成・情報交換、野尻小との連携（児童と園児の交流、施設の利用）		
自己評価	年間計画の作成と評価、自己評価シートによる自己評価		

年齢区分			0歳児		1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	保育指針に定めるねらい
保 <										